

A. 日時 2012 年 5 月 23 日（火）17 時 00 分～19 時 00 分

B. 場所 建築学会会議室

C. 出席者 安藤 啓，岩本 毅，岡野利行，古賀貴士，坂本慎一，田端 淳，中澤真司，永松英夫，羽入敏樹，濱田幸雄，平光厚雄，宮島 徹，吉村純一（敬称略）

欠席者 井上勝夫，大島拓也，佐久間哲哉，横山 栄（敬称略）

D. 提出資料

2012 年度第 1 回音環境運営委員会議事次第

No. 1-0 2011 年度第 5 回音環境運営委員会議事録（案）

No. 1-1 催し物実施計画書：インパルス応答測定に基づく室内音響指標の算出に関する現状と課題
－音響指標ベンチマーク問題の作成に向けて－

E. 審議事項

1. 前回議事録の確認

- ・ P2 の 20 行目：“建築物音響測定法”を“建築音響測定法”に訂正.
- ・ P3 の 2 行目及び 6 行目：“小改訂”を“小改定”に訂正.
- ・ P3 の 15 行目：“運営員会”を“運営委員会”に訂正.
- ・ P3 の 21 行目：“規格”を“企画”に訂正.
- ・ P4 の 14 行目：“固体音測定法”を“鉄道固体音測定法”に訂正.
- ・ P4 の 25 行目：“1/27 を開催”を“1/27 に開催”に訂正.

2. 環境工学本委員会の報告

報告事項

(1) 学術推進委員会報告

- ・ 竹中育英会研究助成は環境工学分野で 12 件の応募があり，現在審査中.
- ・ 2013 年度の大会開催会場と期間が北海道大学（札幌）で 8/30～9/1 に決定した.
- ・ 2011 年度小委員会活動成果報告は，学会HPに掲載された．小委員会は 261 ある.
- ・ 2012 年情報保障に関する費用支援について，手話等が必要な場合は 10 万円程度の予算があるので相談してください.
- ・ 東日本大震災関連で 3 月 1 日及び 2 日のシンポジウムは計 505 名の参加者があり盛況だった．関連して，東日本大震災調査報告書編集委員会編集委員の推薦があり，環境工学では芝浦工大の村上先生が委員に就任する．大きな地震等のおりに出版している報告書の英語版が出版された.
- ・ 2012 年度大会報告：発表題数 6779 件で最近では富山に次いで 2 番目に多かった．環境工学は構造に

次いで2番目の件数を維持している。音環境のOSは7件投稿があった。教育賞は残念ながら音環境分野から当選がなかった。

- ・ 2012年度大会中に小委員会等の非公式行事を開催する場合は、申込書を学会事務局宛に7月6日迄に提出してください。
- ・ 調査研究委員会活動報告会に関して、代議員から出た質疑に対しては環境工学本委員会から回答する予定になっている。
- ・ 予算配分方法の再構築に関して、財政運営上の課題解決のためのアクションプラン（案）が策定されている。その中で予算消化率の向上が課題の1つになっている。学術推進委員会の中に再構築の検討組織が設置され、検討が進められている。各調査研究委員会に意見・要望のお伺いが出ているので、各小委員会で困っていることなどがあれば主査名で意見を出してほしい。音環境運営委員会としては民間企業委員の旅費支出ができないことがネックになっていることを出そうかと考えている。
- ・ AIJ デジタルライブラリーによる大会研究集会資料の公開方針が定まった。会員限定で無料公開となった。公開の有無、公開時期、公開方法（全文か部分か）は選択できる。
- ・ 建築雑誌の大会関連記事について今年から一部内容の掲載を見送ることになった。

(2) 2012年度大会

- ・ 研究協議会、研究懇談会、環境工学懇親会の開催内容について確認した。

(3) 東日本大震災関連

- ・ 3/12 シンポジウム「東日本大震災に学ぶこれからの環境工学」は158名の参加者があった。
- ・ 巨大災害の軽減と回復力の強いまちづくり特別調査委員会の傘下に建築・地域・都市におけるエネルギー需給の再考WGが設置された。本年4月から2年間の活動で叢書の刊行をおこなう予定。

審議事項

- 1) 「住まい・まちづくり支援運営委員会」委員の推薦について、福田展淳先生にもう2年ご留任頂くことになった。
- 2) AIJES 総則の改定素案において、改定のフローに小改定が加わり、小改定の場合には講習会を開催しなくてもよくなったが、開催の有無は小委員会設置申請のときに決めなければいけない。
- 3) 講習会企画の検討依頼：講習会の開催数が減少しており、環境工学分野については既刊の委託図書を用いた講習会企画の検討が依頼されている。
- 4) 刊行計画書が1件承認された。
- 5) 直営刊行物の絶版について：環境工学分野で2件が対象になり、絶版になる予定。背景として、会計方法が変更になり、在庫書籍は従来資産扱いであったのが不良資産扱いで計上されることになったことがある。
- 6) 企画刊行委員会 AIJES の環境基準総則の改定：下記の審議事項の通り。
- 7) シンポジウム実施報告：第70回音シンポジウムは81名の参加者があり収支は黒字となった。
- 8) 来年度の研究集会については北海道大学の大会関係者に依頼があった。
- 9) 委員の委嘱・解嘱：音環境運営委員会関係は新しい委員の委嘱を出したが解嘱は未提出なので早急に手続きをとりたい。
- 10) 予算の消化状況：音環境運営委員会は予算対象者が少ないので傘下の小委員会で必要があれば連絡の上使って頂きたい。

11) 学会のホームページを通じた積極的な情報発信の依頼が学術推進委員長から来ている。

3. 審議事項

(1) 催しもの実施計画書

「インパルス応答測定に基づく室内音響指標の算出に関する現状と課題ー音響指標ベンチマーク問題の作成に向けてー」について羽入主査から説明があった。12月5日の予定であるが（後日11/27に決定）、次回9月の運営委員会より前に会告を出す必要があるので今回審議をお願いしたい。半年先のことなので、講演タイトルは仮のものである。参加者数見込みは65名。

審議

- ・催し物名称の頭に「第71回音シンポジウム」を入れる。
- ・予算は事務局と相談して調整する必要がある。
- ・計画は承認された。

4. 各小委員会・WGの活動報告

① 固体音小委員会（中澤主査）

第70回音シンポジウムを開催し、総合討論の内容をまとめている。今年度の第1回は6/1に開催予定。ワーキングは6/4に開催予定。

② 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会（岩本主査）

4/17開催。各委員が手持ちの竣工物件の測定内容について整理している。これに関連して昭和52年に総プロでの測定結果資料を入手したので、30数年前とどのくらい変化があるのかデータの比較をおこないたい。次回は5/30を予定。

③ 建築物音響測定法小委員会（宮島主査）

昨年度最終回を3/2に開催。OSの審査にて、7件を採択。原稿作成にあたっての要望や参考意見をつけて返却した。4/10に7件の原稿を受領し、要望は概ね反映されていた。

今年度第1回を5/9開催。委員会から提出した2件のOS原稿について、発表の方針を討議した。次回は8/31を予定。

④ 室内音響小委員会（羽入主査：横山幹事代読）

2/29と5/9に開催。室内音響設計事例集について、出版かWeb公開かを検討中。データを仮フォーマットに入れて試作し、利用者、目的、事例集の位置づけ、対象となる建物用途、今後のスケジュール等を数回にわたって議論している。具体的な作業に移るため、今年度中にWGを立ち上げて時期主査に引き継ぎたい。9月の委員会で具体案の審議をお願いしたい。

音響指標測定研究WGは3/19と4/26に開催。ベンチマーク問題の作業とシンポジウム案の作り込みをおこなっている。次回は6/3に開催予定。

スピーチプライバシ研究WGは3/16と5/22に開催。3/16はNTTファシリティズの方にオフィスのレイアウト設計における音関連への取り組み・失敗談を紹介して頂いた。シンポジウムの具

体案を検討中。次回は7月末に開催予定。

⑤ 音響数値解析小委員会（坂本主査）

前年度第4回を2/5、今年度第1回を5/11に開催。

5月と7月に行うチュートリアルを進め方について確認した。書籍の英語版の出版を検討したが、結果的に建築学会からは出版しないということになった。昨日チュートリアルを東大生研で実施し、出席者は101名であった。今回は基礎理論の解説で内訳は学生49名、他52名。7/17に第2回目を開催予定。次回委員会は9/18を予定。

⑥ 音環境規準検討小委員会（平松主査）

昨年度最終回を3/31に開催。3月中にワーキングドラフトということになっているが未了。5月末をめどに作業中。規準は形にはなっているが、指針が遅れている。あと1ヶ月くらいかかる見込み。既にお願しているが、床衝撃音などデータの提供を戴きたい。小委員会の第1回を6/6に開催予定。集合住宅以外についての、今後の進め方が議題になる。

⑦ 企画・広報WG（峯村主査）

昨年度の第6回を3/21に開催。文献調査・整理は昨年フォーマットを決めたのでそれに応じて作業を進め、今後分析に入る。データベースが出来上がった後に、誰に使ってもらうかという議論を進めていくが、学会としてのご意見があれば戴きたい。住まい方マニュアルに関しては、いろいろな案を参考にしながら絞り込みをおこなっている。次回は6/1を予定。

⑧ その他：特になし

5. 他学会・研究会の予定

建築音響研究会：今後の予定は、明日（5/24）音声伝送とスピーチプライバシのテーマで開催、次々回は6/27、その次が7/31の予定。

騒音・振動研究会：5/25 九州新幹線開通前後の鉄道騒音、交通騒音、環境騒音、地震による不安が騒音の認知に及ぼす影響などに関する話題。6/15 東大生研にて低周波音関連、7/20 関西学院大学の予定。

6. その他

特になし

7. 次回予定

9月24日（月）17:00～

以上